



2024 ビジヨン資料

人員 構成

■監督/演出：6名

■作画監督：8名

■原画：31名

■動画/動画検査：19名

■背景美術：12名

■演出助手：5名

■制作：22名

■管理：3名

計：106名 ※2024年4月時点

100億を狙うスタジオへ 唯一のコロリドブランドを確立させる

全年齢・全世界に愛されるアニメスタジオを目指しながら、
【スタジオコロリド】として認知されるようになる。

スタジオブランディングのベンチマークは任天堂。
オリジナル長編・ビッグIP案件と規模を拡張しながら、
世界へ向けて発信できるスタジオブランディングを行う。

現状

これまでの実績、以降のラインナップはビジョンに向けて着実にステップを踏んでいる。
大きな制作方針として以下の2軸あることが、スタジオの作品性と認知度の広がりを生みだしている。

オリジナル長編企画



スタジオの色を作る上で必要な挑戦領域
NETFLIXとの提携の上で企画開発を行う

ビッグIP案件



人気原作のアニメーション制作によりス
タジオ認知度アップを狙う

オリジナル長編企画 アクションの軸

- 監督に合った企画ブランディング
- プロデュースワークの強化

企画・プロデュース力で、監督中心の体制をしっかり支える。
監督それぞれの強いところ、弱いところ、思想を深いレイヤーで把握し伸ばしていく。
題材・テーマ・脚本などを企画段階で戦略的にセッティングする。

監督の個性を伸ばすアプローチと合わせて、プロデュース側で企画立案(原案/原作)
を行う機能を持つ。
ツインエンジン企画部と連携して仕組みを確立していく。



毎年長編作品を公開する制作体制を目指す



コロリドフィルムの独自性を高め 他作品とは違う印象を与える“画作り”を確立させる

情報量の多い映像方向性ではなく、レイアウトのレンズ感、キャラクターの表情&芝居の豊かさ、色彩美で“体感性”を高めユーザーへ魅せる映像にする



- ・ 演出助手コースを設け内製率を高めるのと同時に次世代の監督候補クリエイターを育てる
- ・ プリビジュアルの工程を確立して映像表現の幅を広げながらスタジオの先進性を打ち出していく
- ・ 自社オリジナル企画でショートフィルムを制作する機能を持つ
- ・ 地方スタジオの展開により更なる拡充を目指す